

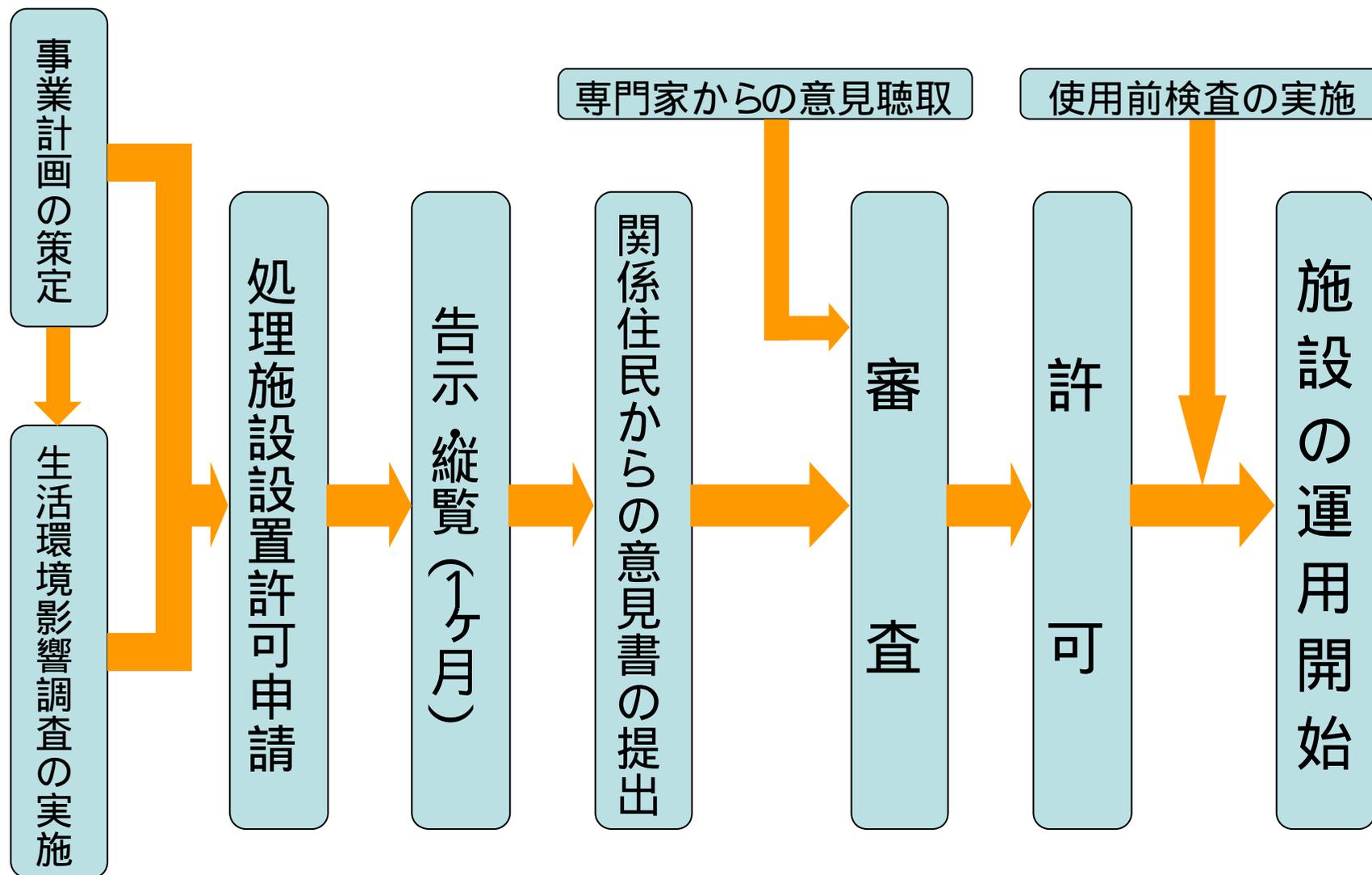
# 豊田PCB廃棄物処理施設に係る 生活環境影響調査のあらまし

平成 16年 3月  
環境事業団

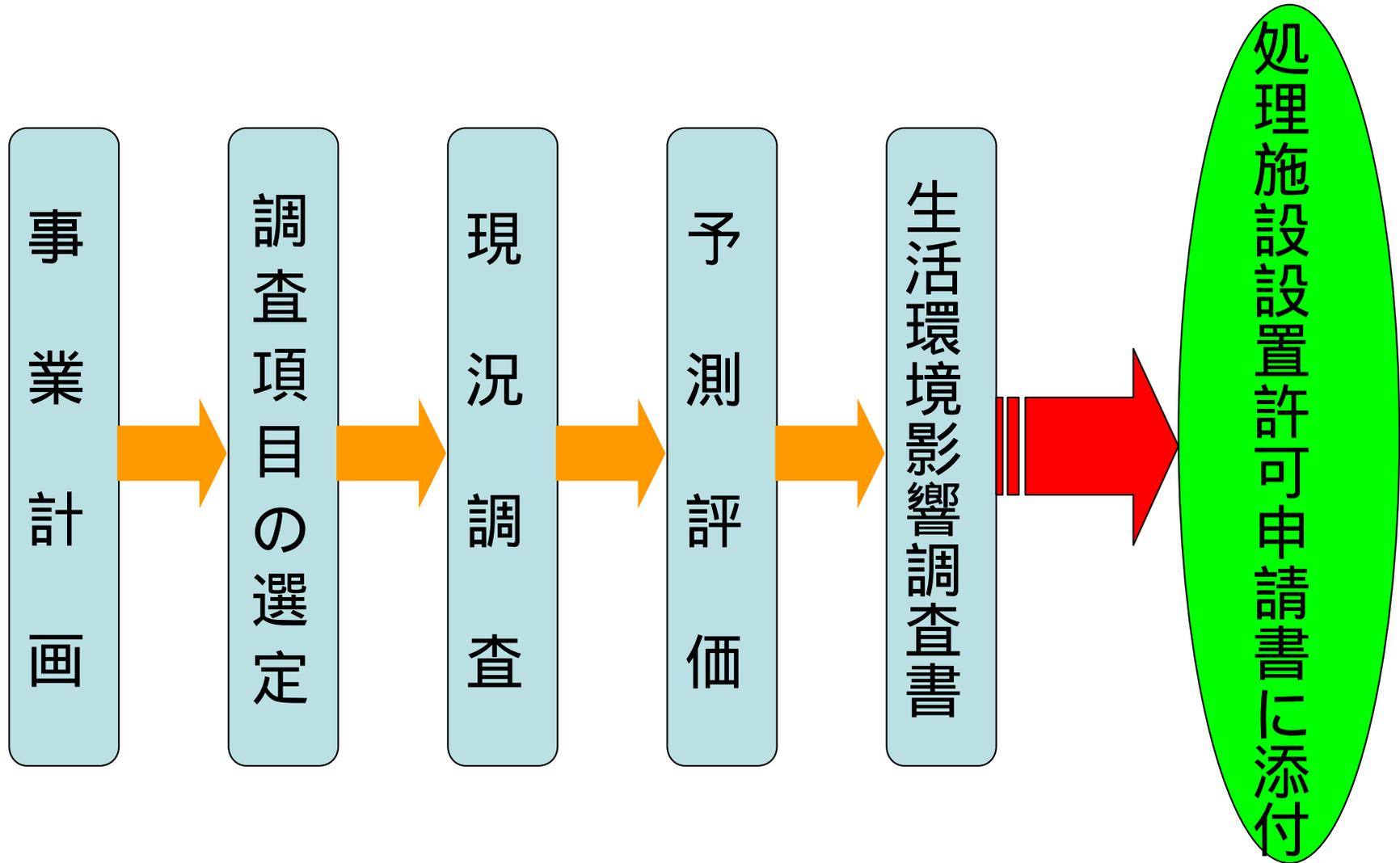
## 生活環境影響調査とは

- 生活環境影響調査は、産業廃棄物処理施設の設置による周辺地域の生活環境に及ぼす影響を調査するもので、その調査結果については、産業廃棄物処理法第15条第3項に基づき、産業廃棄物処理施設設置許可申請書への添付が義務づけられています。
- 事業計画、地域特性を考慮し、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動又は悪臭に係る事項のうち、施設の設置に伴い周辺の生活環境に影響を及ぼすおそれのあるものを選定して調査を行います。

# 廃棄物処理施設許可申請手続きの流れ



# 生活環境影響調査の流れ



## 選定した調査項目

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」に基づき、  
事業計画、地域特性を考慮して、調査項目を選定

調査事項 影響要因	大 気	水 質	騒 音	振 動
ボイラーの稼働				
施設排気の排出				
施設排水の排出 (生活排水など)				
施設の稼働				

## 生活環境影響調査結果 (大気)

### ボイラーの稼働

ボイラーの燃料として都市ガスを使用するため、排ガスの影響を予測。

単位 ppm

項目	現況濃度 (A)	施設の影響 (B)	年平均濃度 (A+ B)	日平均値の 年間98%値	環境保全 目標
二酸化窒素	0.018	0.000068	0.018068	0.040	0.04~0.06 以下

環境保全目標を下回ることから周辺環境への影響はほとんどありません。

## 生活環境影響調査結果 (大気)

### 施設排気の排出

分解処理に伴う排ガスはないが、設備排気や負圧維持のための換気があるため、その影響を予測 (年平均濃度)。

項目	単位	現況濃度 (A)	施設の影響 (B)	予測結果 (A+B)	環境保全 目標
PCB	mg/m <sup>3</sup>	0.00000027	0.00000258	0.00000285	0.0005
ダイオキシン類	pg-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.068	0.00263	0.07063	0.6
ベンゼン	mg/m <sup>3</sup>	0.0024	0.000173	0.002573	0.003

いずれも環境保全目標を下回ることから周辺環境への影響はほとんどありません。

## 生活環境影響調査結果 (水質)

### 施設排水の排出 (生活排水など)

生活排水、用役排水及び雨水排水を逢妻男川に排出するため、その影響を予測。

単位 mg/l

項目	排水口直下地点		排水口下流地点	
	現況河川水質	予測結果	現況河川水質	予測結果
BOD	12	12.55	5.4	5.62
SS	7	7.98	1	1.33
T-N	12	12.34	11	11.1
T-P	0.97	1.06	0.92	0.94

施設稼働後の河川水質は現況とほとんど変わらないことから  
周辺環境への影響はほとんどありません。

## 生活環境影響調査結果 (騒音)

### 施設の稼働

騒音発生施設を設置するため、施設の稼働による影響を予測。

単位 : dB

時間区分	現況騒音	施設の影響	予測結果 (合成騒音レベル)	環境保全目標
朝(6時～8時)	64～72	55～64	65～72	75
昼間(8時～19時)	62～72		63～72	75
夕方(19時～22時)	61～71		63～71	75
夜間(22時～6時)	61～68		63～68	70

施設稼働後の騒音レベルは現況とほとんど変わらず、環境保全目標を下回ることから周辺環境への影響はほとんどありません。

## 生活環境影響調査結果 (振動)

### 施設の稼働

振動発生施設を設置するため、施設の稼働による影響を予測。

単位 : dB

時間区分	現況振動	施設の影響	予測結果 (合成振動レベル)	環境保全目標
昼間(7時 ~ 20時)	38 ~ 43	53 ~ 63	53 ~ 63	75
夜間(20時 ~ 7時)	36 ~ 40		53 ~ 63	70

施設稼働後の振動レベルは、環境保全目標を下回ることから  
周辺環境への影響はほとんどありません。